

バリ島研修旅行

平成30年6月1日(金)～平成30年6月5日(火)に、ホテル開発などの業務に活かすべく、バリ島研修旅行を実施しました。



①最初に宿泊したホテルは、バリ島のウブドという地域にあり、木々に囲まれた静かな場所にある「Natya Resot and Spa」(ナウヤリゾートアンドスパ)。全室ヴィラタイプ、プール付きで、山の地形を活かすことで、どこからでも自然を眺めることができ、ゆったりとした時間を過ごせるホテルでした。



②次に宿泊したホテルは、ジンバランという地域にある「AYANA resort and Spa BALI」(アヤナリゾートアンドスパ)です。インド洋を一望できるオーシャンビューリゾートで、90ヘクタールの広大な敷地には、複数の飲食店や物販店などの施設が充実しており、ゴルフやスパなど、バリの魅力を一度に感じられるハイクラスなホテルでした。





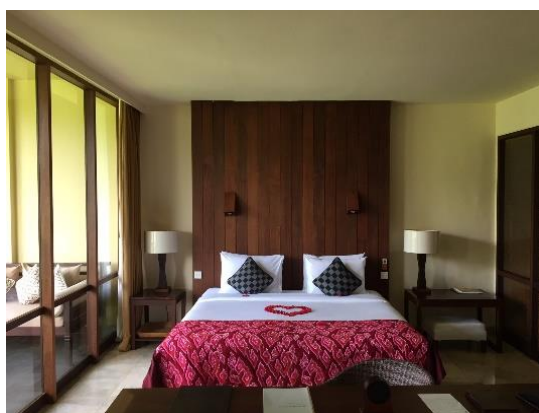
③木工工房の見学をしました。全て手作業での細かい細工はとても素晴らしく、職人が5年かけ制作した木彫りの彫刻など、日本では見ることのできない特徴ある作品ばかりでした。その多くはホテルの扉やモニュメントとして使われているそうです。

④ホテル視察



1.KOMANEKA at Bisma Ubud(コマネカ アト ウブド)

バリ島初のマンション型ホテルです。日本では見慣れた建物がバリ島の自然と融合して新鮮な感じを受けました。通路や客室に贅沢に花を飾っており、見せ方にこだわりを感じました。



2.KOMANEKA at Tanggayuda(コマネカ アト タングユダ)

森の中を散策するような通路、緑とウッドデッキを基調としたプールなど、自然を活かした作りで、沖縄の海辺のリゾートとは違った魅力を感じました。



3.AMANDARI(アマンドリ)

バリ島の中でも有名な歴史あるホテル。溪谷と村の中にひっそりと佇むような造りで、ホテル内の路地も村道のようにでした。ホテル内のレセプション傍にお寺があり、村人が拝みに行けるようになっています。村の景観を損なわないよう、また住んでいる村人への配慮が感じられ、このようなホテルは他に類を見ず、大変参考になりました。

どのホテルも建物や家具、小物など、ホテルそれぞれのこだわりが感じられました。室内外も掃除が行き届いており、ホテルスタッフも丁寧で最高のサービスでした。沖縄の気候に似たバリ島ですが、台風がないので、海のすぐそばにホテルやレストランを建築でき、間近で迫力ある海を感じることができるのはバリ島の良さのひとつだと思いました。沖縄だと、リゾート＝海の印象がありますが、同じリゾート地でも、森の中の斜面を活かし、緑の景観を楽しむというのはとても新鮮でした。今回の研修旅行は、ホテル開発など不動産事情に携わる当社にとって新たな発見があり、大変勉強になりました。今後の業務に活かしていきたいと思います。